

「第3期壮瞥町総合戦略（素案）」についての意見募集結果

第3期壮瞥町総合戦略（素案）について、町民意見参加手続により、町民の皆様からご意見を募集したところ、1名の方からご意見が寄せられました。

ご意見の要旨及びご意見に対する町の考え方については、次のとおりです。

※区分

- A：意見を受けて案を修正したもの
- B：案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
- C：案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
- D：案を取り入れなかったもの

意見の概要	意見に対する町の考え方	区分
自治体の維持・発展のためには、壮瞥町に住むメリットを生み出し続ける事が必要。やはりポイントは「収入の安定と高額」。 総合戦略の人口減少は、当町独自ではありませんので、「稼げる町」への視点を持って、総合戦略に組み込んではどうでしょうか。「出産率」に頼る政策では無理です。	貴重なご意見をありがとうございます。ご意見のありました収入の安定、収益力を高める取り組みにつきましては、基本目標1「産業力強化で雇用者数を維持・向上する」において、企業や地域の収益力を高め、魅力ある就労環境を創出し、雇用者数の維持・向上を目指すことを基本的な方向性に行っているほか、基本目標2「人材・担い手の育成と子育て支援を強化する」において、就農支援体制の充実、起業や産業に従事しやすい環境を整備することで新たに活躍する人材を育成・確保し、まちの経済活動を維持するとともに、当町の第3次産業人口において大きな割合を占めている医療・福祉分野を活用した人の流れを創出することを位置付けております。 また、貴見のとおり、収入の安定、収益力の向上による人口減少の抑制は、総合戦略の推進にあたり必要な取組でありますので、今後の施策展開の参考にさせていただきます。	C
戦略実行のポイントの一つとして「スピード感」が求められると思います。 例としては、町営住宅の家賃滞納問題。 団地入居者としては、納入しなくても住み続けられるのなら家計は助かります。 福祉の面も含んでいるのかとは思いますが、納入又は退去への道筋の点検と内容の見直しにより、滞納金が全住民（町民）への還元や町財政の保留金として発展や維持に使えていくといいと思います。	貴見のとおり、町財政の安定的な運営と住民負担の公平性を図る観点から、住宅使用料を含め、各種債権（町税、各使用料・手数料等）の適正管理（期限内納付の推進・滞納発生の抑止、確実な債権の回収等）は必要不可欠であります。 基本目標5「効率的な行政と安定的な財政運営の推進」において、町債権の適正管理に関する内容を追加します。	A